

「蛍光マルチプレックス RT-PCR 法のアップデート及び Dual Typing 法によるノロウイルスの流行状況の解明」について

○ 研究の意義・目的

当センターの感染性胃腸炎の検査では、ノロウイルス、サポウイルスなどの 10 種類の下痢症ウイルスを包括的に検査していますが、ノロウイルスとサポウイルスの混合感染時に判定が難しい点、一部のサポウイルスで検出されにくい遺伝子型があることが判明しました。また、現在当センターで行っているノロウイルスの遺伝子型の判定方法では、ノロウイルス遺伝情報の中で一つの遺伝子領域のみで検査を行っていますが、二つの遺伝子領域で検査を行う方法が国際基準になっています。

そこで、本研究では現在使用している検査方法を改良することで、検出されにくかったサポウイルスの検出感度向上とノロウイルスとサポウイルス混合感染時の判定改善を図ります。また、過去 10 年間分を遡って検出されたノロウイルスの遺伝子型を詳細に調べることで、年次ごとの流行遺伝子型や注視すべき遺伝子型を特定し、小児のウイルス性胃腸炎の対策に役立てます。

○ 研究対象者

感染症発生動向調査事業及び集団感染事案検査において 2013 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日までに感染性胃腸炎の症例で便検体を採取された患者。

○ 利用する試料・情報

感染性胃腸炎の症例で採取された患者便検体を使用し、検査用に作成した検体番号と当センターの検査で判明したウイルス検出情報、患者の症状、発症日、年齢のみを使用します。(別紙参照)

○ 研究方法

ヒトサポウイルス検出用プライマー及びノロウイルス検出用プライマーを新たに設計し、既存試料を用いてノロウイルスとサポウイルスの検出感度や特異度の評価を行います。また、今回新たに導入するノロウイルスの遺伝子型別法 (Dual Typing 法) を用いて、感染症発生動向調査事業及び集団感染事案検査で収集した過去 10 年分のノロウイルスについては遺伝子型等を解析します。利用する情報 (症状、発症日、年齢) から過去 10 年間における流行状況 (流行遺伝子型と流行時期、流行年齢層、特徴的な症状) を明らかにします。

○ 試料・情報の代表管理責任者

保健研究部 研究員 末井真菜

○ 研究期間 2023 年 5 月 8 日～2024 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。研究で使用する個人情報は患者の症状と発症日、年齢、当方で作成した検体番号のみで処理し、個人が特定されるデータは扱わないため、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので、ご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまで、電話、電子メール等によりお問い合わせください。

* 研究に試料・情報を提供しない場合は下記問い合わせ先へお申し出ください。試料・情報を提供しないことにより、今後の不利益が生ずることはありません。(別紙参照)

.....
(研究代表責任者)

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目 6-29

TEL 082-255-7142 FAX 082-252-8642

E-mail hkchoken@pref.hiroshima.lg.jp

広島県立総合技術研究所保健環境センター 研究員 末井真菜

別紙

- 1 試料・情報を利用する者の氏名又は名称
研究機関 広島県立総合技術研究所保健環境センター

所 属	職 名	氏 名
保健研究部	研究員	末井 真菜
保健研究部	研究員	伊藤 彩乃
保健研究部	部 長	重本 直樹

- 2 利用する情報の項目

項目	具体的な内容
検体番号	下痢症患者用に作成した検体番号
ウイルス検出情報	当センターで検査し、検出したウイルスの情報
年齢	年齢
発症日	発症年月日
症状	下痢、嘔吐、発熱の有無など

- 3 研究への利用を拒否する場合の手続き
「研究に試料・情報を提供しない場合の問い合わせ先」へ連絡してください。